

☆ MJの近況報告です☆

亀田総合病院 内科小児科複合プログラム
シニアレジデント 前田 淳子 (22期生)

みなさんお久しぶりです&初めまして。22期生の前田淳子です。学生時代から巷ではMJと呼ばれていましたがMichael JacksonやMichael Jordanとは無関係です。最近では前田敦子と間違えられますがAKBとも無関係です。

卒後、私は地元滋賀県の長浜赤十字病院で2年間の初期研修を終え、昨年4月より千葉県亀田総合病院で後期研修をしています。初期研修は救急対応の習得を、後期研修はグローバルスタンダードとエビデンスを意識し考えて動けるジェネラリストを目標に研修先を決めました。しかしながら理想と現実の解離に悩むことは多く、願わくば、精神と時の部屋で思う存分勉強と昼寝をしたい……遠くに行きたい……と思うことも多々あります。

この原稿を書いている今は総合診療科の拘束の真っ最中です。約50人の入院患者さんのドクターコールに対応すること、救急外来から当科へ入院となる症例を受けとり朝のカンファレンスでしっかりプレゼンをできるようにしておくことが拘束医のお仕事です。当院の総合診療科は肺炎・尿路感染症・蜂窩織炎・心内膜炎などの感染症疾患の方が最も多くいらっしゃいますが、不明熱、原因の分からない意識障害、DVT、アルコール中毒等、低血糖、DKA、電解質異常など取り扱う疾患は多岐にわたります。ショック状態となり集中治療管理を要する方も少なくありません。もう4年目になります

が、まだまだ知識・技術の不足を感じることは多く、特に一人になる拘束の夜は対応能力を超えるイベントが起こったらどうしようかと不安を抱えながら無事朝がくることを祈りながら過ごしています。

後期研修医として私が属する内科小児科複合プログラムは米国にあるMed-Pedsプログラムを真似して作られた内科と小児科のドッキングプログラムです。4年間の研修で総合診療科と小児科を中心にローテーションし、内科・小児科両方の入院管理ならびに外来診療をおこなうこと、内科認定医、総合内科専門医、小児科専門医の資格を習得することを目的としています。プログラム終了後は家庭医となる人、専門医を目指す人、地域で内科小児科を両方続けていく人などいろいろです。不器用なのに欲張りなプログラムを選択してしまったゆえに完全にキャパ越えしていることも多いですが、多くの方のサポートを受けながらなんとかやっています。

このプログラムを終了した後、人生どうするかについては考え中です。学生時代から目標にしていた海外臨床留学や海外協力に行くのもいいけど、家庭に入って一時は専業主婦とかしてみるのもいいなあ……と妄想中です。

機会があれば是非みなさんの近況とこれからのことについてお聞きしたいと思います。またどこかでお会いできる日を楽しみにしています。



☆総合診療科メンバー集合写真@亀田総合病院 海の前へのりポート☆
完全体育会系で本当にハードですが、オフィスは笑いに溢れた楽しい科です。



☆小児科カンファレンス中@小児科カンファレンスルーム☆
こどもはやっぱり可愛い!!先輩も優秀で本当に頼りになります。